

明治国際医療大学だより

News from Meiji University of Integrative Medicine

Vol.4

大学情報誌



卒業おめでとう

3月15日(木)、平成23年度卒業式・学位授与式が本学講堂にて執り行われ、希望を胸に200名の学生達が医療人として新たな1歩を踏み出しました。当日の朝は、雪が舞うような寒い1日でしたが、式典終了後に講堂を飛び出したみなさんの輝く笑顔がとても印象的でした。今後とも母校としてみなさんをサポートしていくとともに、社会での幅広い活躍を心よりお祈りいたします。

助産師コース 開設

履修定員

学部定員の1割程度(女性のみ6名以内)
※3年次に希望学生(編入生含む)を対象に
学内選抜試験を行います

単位数

修得すべき単位数27単位以上

JR園部駅周辺(学生居住エリア)から
「直行バス」運行開始!!

約20分



園部
大橋

JR
園部駅

木崎町
曾我谷口

JR
日吉駅

明治国際
医療大学

本学の下宿生の46%が園部町に下宿しています。

医学教育研究センター

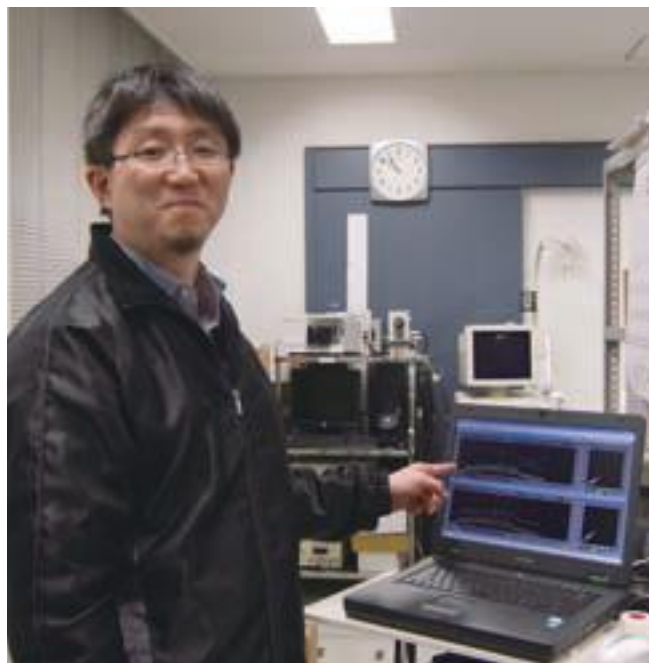
今回は 林 知也先生を紹介します。

医学教育研究センター 林 知也 准教授(生理学ユニット)

2011年12月20日 第35回明治東洋医学院学術集談会

運動誘発性酸化ストレスとその性差

私たちは呼吸をすることで酸素を取り入れ、食品を食べることにより糖質、脂質、タンパク質などの栄養素をからだの中に摂取しています。その栄養素は生体構成物質の材料になるだけでなく、多くは分解(=酸化)され、私たちのからだの働きの元であるエネルギーをつくります。その際に老化促進や病気を導く可能性がある活性酸素と呼ばれる物質が産生されますが、ほとんどの活性酸素はそれを除去する酵素などのはたらきにより消去されます。活性酸素の生成と消去のバランスがくずれ、生成が上回った状態を酸化ストレスと呼び、高強度運動などによって酸化ストレスが生じやすくなることが知られています。この高強度運動による酸化ストレスは、女性ホルモンや持久トレーニングによって軽減されることが分かっています。そこで、週3回の中等度持久トレーニングを4週間行った際の酸化ストレス軽減効果の男女差について調べました。その結果、男性では酸化ストレス状態がトレーニングによって大きく低下しましたが、女性ではあまり変化が見られませんでした。その理由の一つとして、女性ホルモン以外に、女性では一般的に基礎代謝量が男性に比べて低いことが影響している可能性が分かりました。



本人のコメント

現在、運動と酸化ストレス、性差などをキーワードに研究を行っています。学生さんが卒業後スポーツ現場や臨床の場での運動指導を行う際に、活用できる研究成果を出していきたいと思っています。



生理学とは??

生理学は、生命活動の仕組みを機能的に解明することを目的とした生命科学の一分野です。生体の機能は生命活動に関与する植物性機能と、行動や高次神経活動などの動物性機能に大きくふたつの系統に分けることができます。生理学ユニットでは、植物機能人体機能学と動物機能人体機能学の講義、実習のほか、スポーツ生理学を担当しています。

鍼灸学部 鍼灸学科

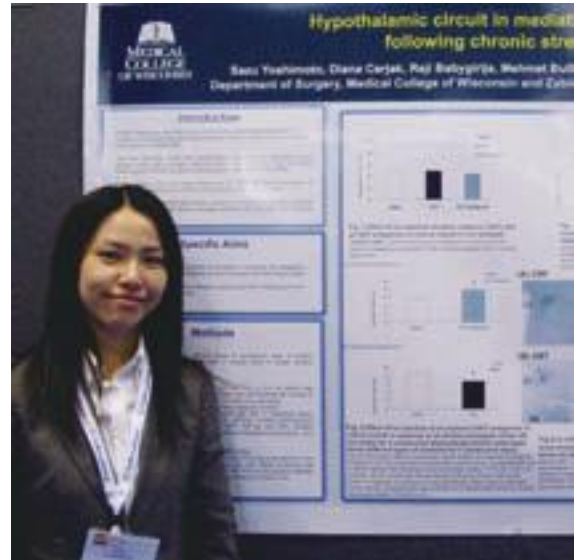
「留学を振り返って」

臨床鍼灸学教室 吉元 授 助教

私は2010年3月から2011年3月までの1年間、アメリカ・ウィスコンシン州に研究留学していました。留学先は、本学客員教授であるウィスコンシン医科大学 (Medical college of Wisconsin) の高橋徳先生の研究室 (Department of Surgery) にお世話になりました。この研究室には過去に本学から3名の先生が留学され、消化器外科の領域では数々の業績を修められていましたので、そのプレッシャーもありつつ臨んだ留学でもありました。

留学中の研究内容は、ストレスで誘発された大腸運動の亢進にオキシトシン (下垂体後葉ホルモン) がどのように関わっているかを調べる事でした。実験過程では、ストレス反応に対する生理学的な作用だけでなく、鍼刺激を行うとどのように変化が引き起こされるのかといったところまで結果を出す事ができました。この結果は、鍼灸治療の新しい治効機序の1つになるのではないかと期待しています。

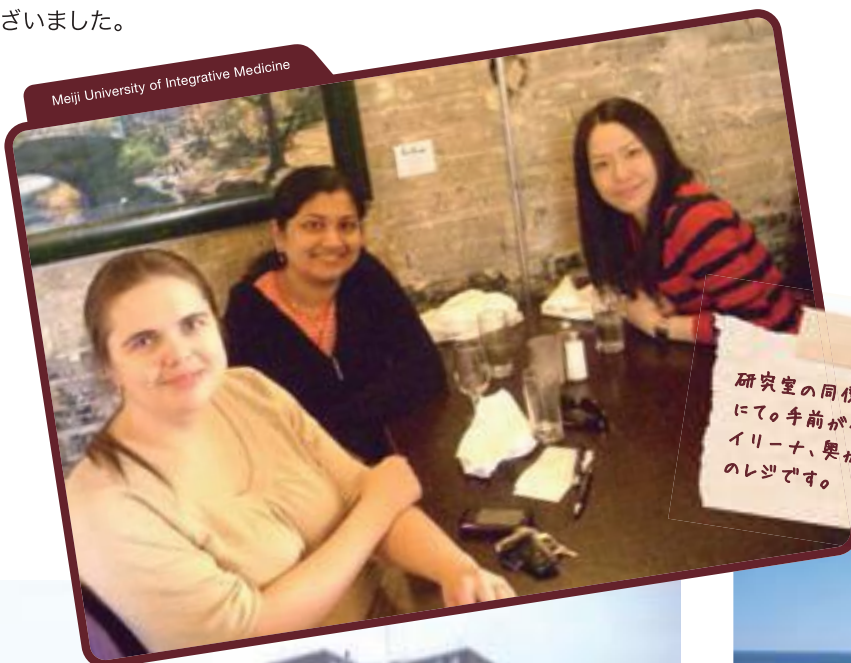
留学中は大変な事も多かったですが、日本では経験し難い多くの事に挑戦することができたまたとない好機となりました。今後は、この経験を生かし鍼灸研究の発展に少しでも貢献できればと考えています。最後に、今回の留学を支えてくださった鍼灸学部の教員の先生方、ならびに大学スタッフの方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



シカゴで行われた学会 (Digestive Disease Week) で、留学中の研究結果を発表



留学先の研究室が所属しているウィスコンシン医科大学 (Medical college of Wisconsin)



留学中に働いていた病院



夏のミシガン湖 (ウィスコンシン州)

保健医療学部 柔道整復学科

第4回 教室紹介

「応用柔道整復学Iユニット」



渡邊 康晴[医療情報学教室]（前列左）、中川 貴雄（前列中）、中川 達雄（前列右）

“治せる柔道整復師”を目標にして、日常の臨床で遭遇することの多い関節の痛みや運動障害に焦点を当て、安全かつ有効な検査法や治療法を研究し、学生が、将来、実際の臨床において、やさしく、安全に行うことができる有効な検査法そして施術法を教授しています。当ユニットの研究課題は、柔道整復の応用技術として、臨床において安全でかつ有効な徒手検査法と徒手療法の研究と開発です。

担当授業科目

〈科目名〉

身体構造機能学基礎 身体構造機能学基礎実習
身体構造機能学応用 身体構造機能学応用実習

教育

応用柔道整復学Iユニットの教育目的は、卒業後、臨床に応用することのできる検査法と施術法の修得です。内容は、解剖学と整形外科学、理学検査法を基礎として、徒手検査法である「スタティック・パルペーション」（静的触診法）と「モーション・パルペーション」（動的触診法）を学びます。それによって、患者さんの訴えている手足の関節の歪みや運動機能の異常を見つけ出します。それをもとにして、患者さんにとって、どのような整復・調整・施術が最も適しているかを考察し、やさしく、安全かつ有効な施術法である「マイクロ・モービライゼーション」および「マイクロ牽引法」を学びます。本ユニットの検査法である「モーション・パルペーション」は、ヨーロッパやアメリカで、カイロプラクティック、オステオパシー、理学療法が用いている検査法を、より詳細に改良したものです。



研究テーマと活動



本ユニットでは、身体構造機能学で教授されている徒手療法である「マイクロ牽引法」が身体に及ぼす影響について研究を行っております。マイクロ牽引法とは、従来行われている牽引法とは異なり、「患者が牽引されていることを自覚しない程度の微少牽引を用いて、神経学検査、整形外科検査、画像診断などでは解明できない関節の痛み、運動異常などの関節症状を治療する方法」であり、本ユニットの中川貴雄教授が通常の牽引法と区別するために命名したものです。

卒業研究では、学生達が安全で有効な施術法である「マイクロ牽引法」が身体に及ぼす効果について、様々な角度からの評価実験を行い、学会や研究会で発表しております。また医療情報学教室の先生方にご協力頂き、MRIを用いた身体指標の変化について、臨床的な身体の現象を3D-MRIを解析することで客観的に評価する方法を研究しています。また活動としては、市民公開講座や講演会などを通して、腰痛等についての最新情報や治療法、予防法を発信しています。

「2年生の大学生活の紹介」

— 目標に近づいていることを実感 —



学年アドバイザー 清野たか枝(リハビリテーション看護学准教授)

2年生は、疾病治療論や看護学を中心とした専門的な科目が増え、多忙な毎日です。学生数は67名(男子21名、女子46名)。普段は賑やかで自由な雰囲気ですが、やるべき時はキリッと引きしまり、真剣に取り組む姿が見られます。学生アドバイザーの柴田早苗(精神看護学講師)、中森美季(成人看護学急性期助教)、田村真由美(基礎看護学助手)の4名で学生生活全般にわたる支援を行っています。2年生の大学生活の一部を紹介いたします。

■クラス懇親会



5月27日(金)茶話会では皆でお弁当を食べ、その後バレーボール大会を開催。白熱したチーム対抗戦では珍プレー続出でした。

■お作法を学ぶ

7月7日(木)、前期の授業の一環としてお作法を学びました。礼儀作法や茶道体験は、日常生活でのマナーを考える機会となりました。



■基礎看護学実習Ⅱ



8月と9月、2班に分かれ、2週間の臨地実習に行きました。初めて患者さんを受け持ち、看護の判断、実践に苦戦しましたが、ひとまわり成長しました。

■看護技術学(演習)



1月25日(水)は採血の演習。2年生では、臨床現場で行われるより専門的な技術を学びます。



シミュレーターを使って採血を体験。注射器を持つ手が震えてしまいました。

■ボランティア活動

10月23日(日)は教員と共に「ひよし水の杜フェスタ」に参加し、ピンクリボン活動(乳がん予防)や健康ドックに協力しました。地域住民の皆さんへの対応もバッチリでした。





ヒーリングタッチプログラム講習会開催 レベル1&レベル2



1月5日(木)～8日(日)、看護学部において、補完代替療法のひとつであるヒーリングタッチプログラム講習会を、日米の看護師免許を取得してカリフォルニア・ロングビーチにハシバインスティテュート(Hashiba Institute)を創設、ヒーリングタッチプログラムのインストラクターとして活躍中の橋本ルミ氏と共催し、10号館看護学実習室において実施致しました。受講者は学部学生、卒業生、本看護学部教員など、延べ31名となりました。円陣になっての意見交換や瞑想、臥床してのチャクラブレッドやアセスメントなど、手を使って気の層を整え、癒しとリラクゼーションを体感しました。今後、セルフケアとともに対象者への実践に向けてもさらに学びを深めたいと実感した講習会でした。

ヒーリングタッチとは、アメリカで看護師やその他の医療分野に働く専門職者の間に活用されている健康と癒しの為のエネルギー(気)フィールドを整える療法です。米国の看護師ジャネット・メントゲン(Janet Mentgen)氏が開発された国際的な認定プログラムで、資格認定はレベル1～レベル5まであり、知識と技術を習得した受講者は米国ヒーリングタッチプログラムから研修修了認定書を受けられます。

エイズ予防啓発運動

12月16日、看護学部の学生達が京都府南丹保健所の保健師の指導を受け、エイズの予防の大切さ、保健所に相談窓口があること等を説明しながら、学内で予防啓発ロゴの入った蛍光ペンとカイロを配布しました。また、今回の活動は12月19日発行の京都新聞でも紹介されました。



学食こもれび「バランス弁当」

本学食堂「こもれび」では、季節にあわせた旬の食材を使用したメニューはもちろん、食生活の乱れがちな学生のために栄養バランスを考慮し、お腹を満たすためだけではなく、体を作る食事を提供するよう心がけています。一押しメニューの「バランス弁当」は12月13日(火)18:10～の『NHKニュース610京いちにち「学食へ行こう!」』で紹介されました。



接遇・マナー講演会

2011年11月11日、学生へのキャリア教育の一環として、卒業後に医療人として「ホスピタリティ(おもてなしの心)」を持った心地良い高品質な接客サービス(患者さんに寄添ったサービス)を学んでもらうべく、京都ホテルオークラ 営業企画部長 西村直樹氏をお招きし、「ホスピタリティ(おもてなしの心)～123年の歴史と共



に～」と題した講演会を開催いたしました。西村氏からは、約25年に及ぶ経験を踏まえた大変貴重なおもてなしの心に関するお話を講演いただきました。今後、学生には、この講演で得られたことを大いに参考にしていきたいと思っております。

スポーツ医療講座開催

本学では高大連携の一環として、岩井副学長を中心に、クラブ活動を行う高校生の健康管理やスポーツケアを指導する「スポーツ医療講座」を実施しています。12月28日の京都新聞で、この講座に同行した保健医療学部3年生栗栖学さん、谷垣賢さん、寺田弘太郎さん、吉岡千晴さん、2年生秋山翔太さん、柴田茂秀さん、水田絢子さんの7名が書いた取材記事が掲載されました。

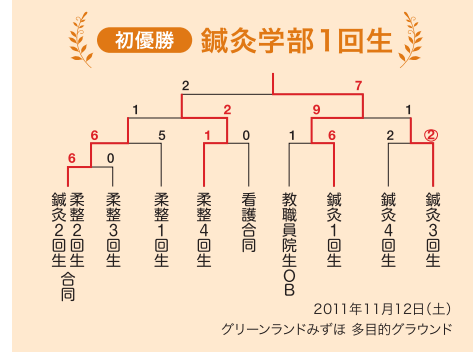


第34回 たには祭寄付金の御礼

本学学園祭、第34回たには祭(10月15日、16日開催)へ多くの温かいメッセージをいただきありがとうございました。地域・企業の皆様、並びに同窓生・保護者の方々のご支援ご協力に実行委員一同、心より厚く御礼申し上げます。このたび頂戴いたしました寄付金401,000円(50件)は「たには祭」の運営に大切に使用させていただきました。当日は雨が心配される中、たくさんの方々にご来場いただき、無事盛大のうちに終了することが出来ました。例年通り、各種ステージイベントや模擬店、アーティストによるライブ、花火の打ち上げなど様々なイベントの他に、今年は保育所の園児によるお絵かき展示会が加わり、更には教職員バンドの演奏で教職員・学生が一体となって大いに盛り上がりました。教職員との交流や地域の方との連携が深まった秋の良ひと時になったように思います。来年度のたには祭も、実行委員一同全力で盛り上げていきますので、尚一層のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



第16回 学長杯野球大会



おめでとう陸上部!

8月20日、21日に札幌で行われた第70回全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競技選手権大会、10月1日に大阪で行われた第18回関西医歯薬科学学生対抗陸上競技大会において、優秀な成績を修めました。



左から岩崎君、顧問の真田先生、浅山君

◆第70回全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競技選手権大会

(団体) 優勝	男子フィールドの部	
(個人) 優勝	男子ハンマー投げ	岩崎大輔(鍼灸学部3年)
準優勝	男子円盤投げ	浅山太貴(看護学部2年)
準優勝	男子砲丸投げ	浅山太貴(看護学部2年)
6位	女子100m	大槻真弓(看護学部2年)
6位	女子円盤投げ	伊藤 唯(保健医療学部1年)

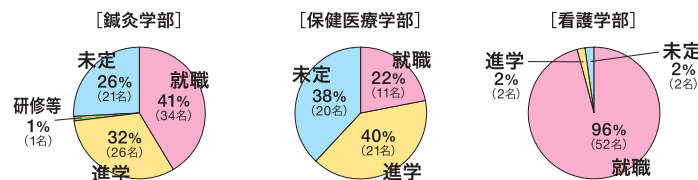
◆第18回関西医歯薬科学学生対抗陸上競技大会

(個人) 優勝	男子円盤投げ	浅山太貴(看護学部2年)
優勝	男子砲丸投げ	浅山太貴(看護学部2年)

2010年度卒業生就職率100%

このたび、本学の2010年度卒業生の就職率が100%となり、週間ダイヤモンド社『就職に強い大学ランキング 全国548校調査』の「在籍者数2,000人未満の大学の就職率」ランキングで第1位となりました。また、同調査「全国548大学の後悔しない大学選びのための全情報」において総合165位にランキングされました。2011年度の卒業生についても就職率100%を達成できるよう、学生の皆さんを支援いたします。

◆4年生 進路決定状況 [2011年度生3月現在]



学生相談実施中

学生相談室では、学生の皆さんが大学生活の中で困ったときや悩んでしまったときに、専門のカウンセラーの先生が相談に応じています。人間関係などで悩みの場合、是非ともご相談ください。

開設日時: 毎週月曜日
11:00~19:00
担当: 附属統合医療センター
臨床心理士
開設場所: 1号館2階 学生相談室

合同就職説明会

7月31日と12月4日の両日、姉妹校の明治東洋医学院専門学校と合同で就職説明会を開催しました。多くの事業所が一堂に会する機会は貴重であるため、参加学生は各々の担当者の話に対し、熱心に耳を傾けていました。参加学生からは「様々な事業所の考え方が聞けたことは、今後将来を考えるうえで勉強になり、とても良かった。」と大変好評でした。お忙しい中、ご参加いただきました事業所の皆様、誠にありがとうございました。



成績優秀者 各賞発表

このたびの卒業予定者の中から成績優秀者に贈られる各賞が次のとおり選されました。受賞者には、3月15日(木)の卒業式・学位授与式において各々表彰状と記念品が贈られました。



学長賞	大坂 侑子(鍼灸学部)
学長賞	光信明日香(保健医療学部)
学長賞	小安 順美(看護学部)
全日本鍼灸学会会長表彰	五十嵐義信(鍼灸学部)
日本鍼灸師会会長表彰	中山 ひかり(鍼灸学部)
日本柔道整復接骨医学会賞	小林 慎弥(保健医療学部)
日本柔道整復師会会長賞	上川 達矢(保健医療学部)
日本私立看護系大学協会会長表彰	小林 唯(看護学部)

行事予定

日程		行事
4月	2日(月)・3日(火)・6日(金)	新入生オリエンテーション
	4日(水)	在学生オリエンテーション
	5日(木)	入学式
	9日(月)	前期授業開始
5月	1日(火)	特別休講
	2日(水)	特別休講
8月	3日(金)	前期通常授業(試験含む)終了

大学だより
名称募集!

本大学だよりの名称を募集いたします。名称、名称の意味・コンセプトを添えて、教学課までご応募ください。

- 応募期間 平成24年4月1日～4月27日(必着)
- 応募対象 本学学生、保護者、教職員等
- 応募方法 書面、FAX、メール



平成24年度 京カレッジ市民教養講座

大学コンソーシアム京都 京カレッジ市民教養講座 メインテーマ:「サクセスフルエイジングに向けて」

場 所 キャンパスプラザ京都(京都駅前) 受講料 無料

開催月日		区 分	サブテーマ
第1回	平成24年6月24日(日) 10時30分～15時30分	10:30～12:30 講演(午前の部)	ツボで肩こり解消、そして気分爽快に (講演:健康・予防鍼灸学ユニット 廣正基准教授)
		13:30～15:30 講演(午後の部)	
		内容:講演60分、休憩15分、ツボ指導45分	
第2回	平成24年9月2日(日) 10時30分～15時30分	10:30～12:30 講演(午前の部)	生涯介護不要の生活をするためにどうする? (講演:臨床柔道整復学Ⅱユニット 岡本武昌教授・行田直人准教授)
		13:30～15:30 講演(午後の部)	
		内容:講演とデモ90分、質問30分	
第3回	平成24年10月28日(日) 10時30分～15時30分	10:30～12:30 講演(午前の部)	男女の更年期の健康と老年期の性～アロマ演習を含む～ (講演:母性看護学ユニット 夏山洋子講師・糠塚亜紀子講師)
		13:30～15:30 講演(午後の部)	
		内容:講演90分、アロマセラピー演習30分	

シャトルバス時刻表

※電車のダイヤ改正により年度途中にバス運行時刻が変更となる場合があります。

■桂エリア 学生専用回数券(20枚綴り) 桂エリア～大学 6000円(＠300円)

■園部エリア 学生専用回数券(20枚綴り) 園部エリア～大学 3,000円(＠150円)
日吉駅～大学 2,000円(＠100円)

往路		復路			
停留所名/系統番号	77	77	77	77	77
阪急上り(河原町方面)	8:01	9:44	授業終了時間		
阪急下り(梅田方面)	8:01	9:48	15:00	16:40	18:20
桂駅東口	8:05	9:52	明治国際医療大学	15:20	17:00 18:40 20:00
JR上り(京都方面)	8:07	9:52		16:02	17:42 19:22 20:42
JR下り(大阪方面)	8:03	9:53	JR桂川駅前	16:12	17:52 19:32 20:52
JR桂川駅前	8:11	9:58		16:20	18:00 19:40 21:00
境谷大橋	8:23	10:08			
明治国際医療大学	9:13	10:55			
授業開始時間	9:30	11:10			

往路		復路			
停留所名/系統番号	45	45	45	45	45
園部大橋	8:21	9:27	10:21	12:21	13:41
JR下り着(京都方面)	8:25	9:31	10:20	12:20	13:43
園部駅西口	8:29	9:35	10:29	12:29	13:49
木崎町	8:30	9:36	10:30	12:30	13:50
曾我谷口	8:31	9:37	10:31	12:31	13:51
日吉駅前	8:43	9:49	10:43	12:43	14:03
附属病院前	8:48	9:54	10:48	12:48	14:08
明治国際医療大学	8:49	9:55	10:49	12:49	14:09
授業開始時間	9:30		11:10	13:30	15:10
園部大橋	11:43	13:38	15:43	17:13	19:04 20:45

編集後記

寒さの厳しかった冬がようやく明け、本格的な春が訪れる季節です。この冬、本学は比較的雪が少なく、大雪だった北部の方々から、このあたりはさすがに雪がないね、と何度も言われました。我々の心の中にも、昨年の厳しかった大地震を乗り越えて、早く春が来るように心がけたいものです。さて、3月は、大学ではうれしい別れの季節です。本年も3学部の卒業生が医療界に初々しく巣立ちました。4月から桂駅に加えて、園部駅からもバスが運行され利便性が高くなります。是非ご利用下さい。

(文責:田中忠蔵)

当大学だよりに関するご意見ご要望および記事のご投稿は、大学事務局 教学課までお願いします。



財団法人日本高等教育評価機構より
大学評価基準を
満たしていると認定
されました。

2008.4～2015.3